

Renewal

# パッシブデザイン住宅の計画スキルを身につける全4回 パッシブデザインワークショップ ONLINE

パッシブデザインの実質的な設計手法を、基礎から実践までていねいに解説し、実際のプランニングの順序や方法などを、ワークショップ形式で学びます。

5/24  
[火]

## カリキュラム 1

### パッシブデザインの全体像をつかむ

テキスト「パッシブデザイン講義」を基に、パッシブデザインに必要な基礎知識や情報を学びます。カリキュラム2~4の基礎となります。

6/21  
[火]

## カリキュラム 2

### 敷地の日照から考えるプランニング手法を学ぶ

日照シミュレーションを使い、周辺環境の日影から見た敷地の読み解き方を学び、ゾーニングを行います。  
(日照シミュレーションソフトを配布・使い方から学びます)

7/26  
[火]

## カリキュラム 3

### 自社物件を基にパッシブデザインを演習する ①

「パッシブデザイン講義」「パッシブデザイン・プランニングガイドブック」の内容に沿って自社物件の図面を見直し、室温・年間暖冷房負荷目標に到達できるよう修正します。カリキュラム3と4の2回で完結。

8/30  
[火]

## カリキュラム 4

### 自社物件を基にパッシブデザインを演習する ②

カリキュラム3に続き、自社物件の図面をパッシブデザインの側面から見直し、修正を図ります。自社の仕様や計画図を用いて演習するので理解がしやすく、明日から使えるスキルが身に付くと好評です。

## 実施時間

13:30 ~ 18:00 <各回共通>

## 講師

カリキュラム 1・3・4

辻 裕介

(Forward to 1985 energy life 代表理事)

カリキュラム 2

坂崎 有祐 (有建築設計舎 代表)

## 視聴方法

インターネット会議システム zoom 使用  
※インターネットに接続できるPC (マイク・カメラ機能付)をご準備下さい。

定員 20名

申込方法 (締切: 開催日の4日前)

パッシブデザイン  
テクニカルフォーラム  
Webサイト「イベント情報」  
よりお申込みください。



<http://pdf.jp/>

イベント情報ページに  
アクセスします

## 参加費

	セット参加 ※1	単発参加			テキスト① 【パッシブデザイン 講義】	テキスト② 【パッシブデザイン プランニングガイドブック】
	①~④セット	①のみ	②のみ	③・④のみ ※3		
正会員 ※2 団体会員	¥22,000	¥6,300	¥6,300	¥12,500	¥3,170	¥2,870
一般	¥42,000	¥12,600	¥12,600	¥25,000	セット購入価格: ¥5,670	

※1 ①~④セット申込者を優先して受け入れます。また、全4回参加いただいた方の中で希望者には修了証を発行いたします。

※2 一般社団法人 Forward to 1985 energy life の正会員ならびに団体会員を指します。

※3 ③・④はセットでの受講となります。

※4 テキストをお持ちでない方は、購入が必須となります。またワークショップ参加者特別価格ですので、申込と同時にご注文ください。(お届けは初回参加日の直前になります)  
なお、テキスト①はカリキュラム1~4で使用、テキスト②はカリキュラム2~4で使用します。カリキュラム①のみ参加の方は、テキスト①のみ購入してください。

主催・問合せ先

**Passive-Design  
Technical Forum**

一般社団法人 Forward to 1985 energy life 内 パッシブデザイン テクニカルフォーラム  
〒336-0932 埼玉県さいたま市緑区中尾1250-7 TEL 048-678-5367 Mail pdf@to1985.net

## パッシブデザインスキルを確かなものにする2つのテキスト

2014年6月に第一版を発売し、2018年5月に省エネルギー基準の改正部分などを反映した改訂を経て、これまでに1万部を発行している「パッシブデザイン講義」（野池政宏著）と、その副読本として、パッシブデザインの住宅計画に関する具体的な情報をまとめた「パッシブデザイン・プランニングガイドブック」（2022年4月発売）を使用し、それらの内容をわかりやすく解説しながら、パッシブデザインに必要なスキルを座学と実践で学びます。

### テキスト①

#### 「パッシブデザイン講義」

パッシブデザインの全体像を明確にしなが、その具体的な方法を、正確に、かつわかりやすく解説した、いわば「パッシブデザインの教科書」。パッシブデザイン設計項目（断熱、日射遮蔽、通風、昼光利用、日射熱利用暖房）について、根拠となる数値や計算方法と共に詳細にガイドします。

##### 目次

- 第1章 パッシブデザインの全体像
- 第2章 パッシブデザインを進める上での目標
- 第3章 パッシブデザインのポイント
- 第4章 パッシブデザインの実際
- 第5章 パッシブデザインに向かう準備

巻末資料



### テキスト②

#### パッシブデザイン プランニングガイドブック

実際のパッシブデザインのプランニングに関する作業内容や手順、その留意点などの具体的な情報を記載しており、より設計実務に沿っています。また、モデル住宅を基にした複数のシミュレーション結果を一覧にして提示し、パッシブデザインの目標値を定める「室温・年間暖冷房負荷」が建物の諸条件によって変化する相関をまとめました。

##### 目次

- 第1章 パッシブデザインの概要
- 第2章 パッシブデザイン住宅の計画手法
- 第3章 室温・年間暖冷房負荷の目標値を実現するための考察

事例集



4回通して参加された方には、パッシブデザインテクニカルフォーラム公認の修了証を発行いたします。（希望者のみ）  
オンラインで気軽に確実にスキルアップしましょう！



お申し込みは、パッシブデザイン テクニカルフォーラムWebサイト「イベント情報」よりお願いします

 <http://pdf.jp/>

※Forward to 1985 energy life Web サイトからもご覧になれます。



イベント情報ページにアクセスします

[主催・問合せ先]

 **Passive-Design  
Technical Forum**

一般社団法人Forward to 1985 energy life 内 パッシブデザイン テクニカルフォーラム  
〒336-0932  
埼玉県さいたま市緑区中尾1250-7 TEL 048-678-5367 Mail pdf@to1985.net